

(5) 京都メカニズムの活用

京都メカニズムを目標達成の補完的手段と位置づけ、

①鉄連として、日本温暖化ガス削減基金、バイオ炭素基金への出資：合計100万t

②鉄鋼省エネ技術(CDQ/中国、焼結排熱回収/ワイヒン)や、鉄鋼エンジニアリング技術(フロン処理等/中国)のCDM等プロジェクトの立ち上げ：合計2700万t(うち国連登録が200万t)

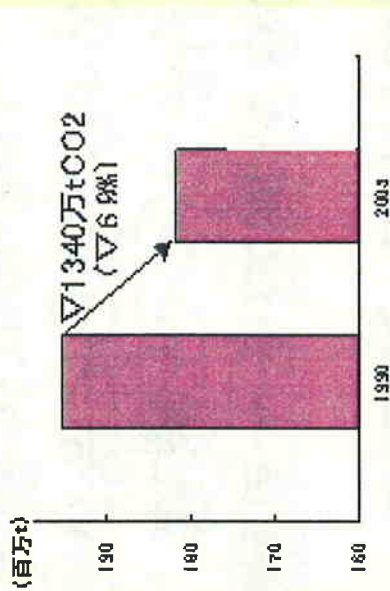
等を通じ、これまでに2800万t(560万t/年)について購入契約済み

(6) 鉄鋼業の地球温暖化対策への取り組みとCO₂削減効果

(数値は2005年度)

生産工程での取り組み

～エネルギー起源CO₂削減量は、1340万トンで、わが国全体のCO₂排出量の約1%に相当～



産業間連携 (エコパートナー等)

副産物 輸出

京都メカニズム
560万t-CO₂

440万t-CO₂

国際的な貢献

～CO₂削減量は1000万トンで、わが国全体のCO₂排出量の約1%に相当～

中長期的な技術開発

～未利用排熱を活用(H₂、OCS)、
鉄鋼スラグ活用(CO₂海洋固定)など～

民生・運輸等

～CO₂削減量は1240万トンで、わが国全体のCO₂排出量の約1%に相当～

製品・副産物による貢献 合計1,240万t-CO₂

高機能化鋼材
760万t-CO₂



副産物
480万t-CO₂



運輸部門の取り組み

- ▶ グリーン物流パートナーシップ
- ▶ 共同輸送による空船ミニムム化
- ▶ 職場モビリティマネジメント

オフィス等での取組

- ▶ 省エネ機器の導入
- ▶ 省エネ活動の実施
- ▶ 家庭のCO₂調査

森林整備サポート

- ▶ 緑化 4万t-CO₂
- ▶ 間伐材活用 (4.4万㎡/年)

II. わが国鉄鋼業の国際連携

(1) 粗鋼生産の状況

